

基本目標Ⅱ「いきいきがやく元気なまち」

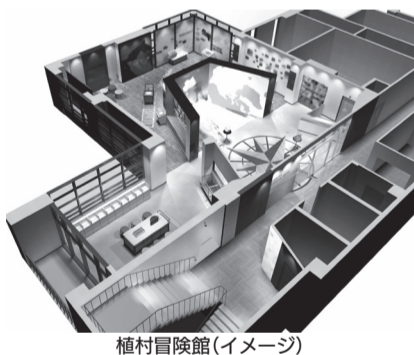
豊かな健康長寿社会

- ▶食品表示法・健康増進法に基づく加工食品の栄養成分表示の義務化に伴い、違反の疑いがある場合に必要な調査を実施し、区民の健全な食生活を支えます。
- ▶シニア世代の健康増進・社会参加を促進するため、フレイル予防事業の拡充やオンラインコミュニケーションスキルの向上などで社会活動を多面的に支援し、健康長寿のまちづくりに向けて取り組みます。



心躍るスポーツ・文化

- ▶冒険家・植村直己の生誕80周年に合わせ、植村冒険館を東板橋体育館に移転・複合化し、冒険というコンセプトを加えた施設に刷新します。地域の方が気軽に憩えるコミュニティラウンジや、おむつ替え・授乳ができる赤ちゃんの駅を設置し、誰もが利用しやすい施設とするほか、昨年12月にリニューアルオープンした板橋こども動物園を含め、加賀エリア全体の魅力を高めます。



植村冒険館(イメージ)

- ▶モンゴル国教育科学省との文化・教育交流協定締結25周年を記念し、同国教育科学大臣をはじめとする訪問団を受け入れるほか、記念イベントを開催し、モンゴル国との交流促進を図ります。
- ▶旧粕谷家住宅の歴史的価値を適切に保存していくとともに、駐車場などの環境を整備することで活用を促進し、区立美術館・郷土資料館と連携した赤塚地域全体の魅力発信と活性化につなげます。

光輝く板橋ブランド・産業活力

- ▶経営安定化特別融資制度を創設し、信用保証料を全額補助す

るほか、オンライン商談・テレワークなどの環境整備、営業活動に関する助成制度の創設、営業時間の短縮に協力している店舗への協力金の支給など、区内中小企業の持続的経営を支援します。

- ▶コロナ禍の影響による失業者・非正規雇用者に対し、オンライン研修・就労機会の提供などを行い、就職活動を支援します。
- ▶認定農業者に対し、施設整備費用の一部を補助するとともに、農作業スキルを持った人材を育てる「農のサポーター」制度の確立に向けて検討を進めます。
- ▶区の4大イベント(区民まつり・いたばし花火大会・板橋Cityマラソン・農業まつり)の新たな実施方法を試行し、区の独自性・先駆性を打ち出しながら、ポストコロナ時代における新しい板橋ブランドとして戦略的に発信します。

基本目標Ⅲ「安心・安全で快適な緑のまち」

緑と環境共生

- ▶電気・ガスの使用量の削減割合に応じてポイントを付与する「いたばし環境アクションポイント事業」を実施します。地球温暖化の防止に向けた取組を実践・継続し、SDGsの推進と二酸化炭素の実質排出量をゼロにする「脱炭素社会」の実現をめざします。
- ▶サーマルリサイクル(熱回収)されているプラスチックごみの再資源化に向けた実態調査を実施し、中間処理施設・収集運搬方法などを検討します。
- ▶老朽化した区立公園・公衆トイレの改築や遊具の適切な修繕など、ユニバーサルデザインを推進しながら、安心・安全で誰もが使いやすい公園を整備します。また、板橋公園を防災機能が充実した魅力ある公園として整備するため、基本構想・基本計画の策定を進めます。



万全な備えの安心・安全

- ▶新型コロナウイルス検査・医療体制支援として、PCR検査体制の充実、電話相談窓口の設置、保健所運営体制の強化のほか、病院間連携による転院支援を引き続き実施します。転院支援では、退院基準を満たしても介護者不在などで入院継続が必要な方に対し、転院の調整・費

用負担などの支援を行い、ひっ迫する病床の確保を図ります。



- ▶都内自治体で初めて開始した自宅療養患者に対する夜間・休日の電話相談・救急往診体制整備事業を引き続き実施します。
- ▶停電時でも、地域コミュニティの防災活動に支障が生じないように、住民防災組織などの活動拠点における電源確保を支援します。また、荒川浸水想定区域内の新河岸地区で、住民・企業などの協議によるコミュニティタイムラインの策定に着手します。
- ▶「老朽建築物等対策計画2025」の後期計画を策定し、空き家の所有者などに適切な啓発・指導を行い、安心・安全で快適なまちづくりを進めます。

快適で魅力あるまち

- ▶高島平地域における都市再生実施計画の策定を進めます。社会情勢の変化などを踏まえ、「高島平地域グランドデザイン」のバージョンアップを図り、高島平地域全体のまちづくりに取り組みます。また、板橋駅西口周辺地区・大山駅周辺地区・上板橋駅南口駅前地区におけるまちづくりが進展しており、この機を捉え、まちづくりにかかる

区の組織を再編し、都市整備部に「まちづくり推進室」を新設します。災害に強く、若い世代の定住化・交流人口の増加につながる魅力あるまちづくりを推進します。



板橋駅西口周辺地区(イメージ) 大山駅周辺地区(イメージ)

- ▶大山駅周辺地区のまちづくり事業に、専門知識・ノウハウを有する専門家を派遣し、商店街のさらなる活性化とまちづくりの推進を図ります。

計画を推進する区政経営

- ▶ICTを活用したテレワーク・リモート会議、行政手続きのオンライン化など、「新たな日常」の核となるデジタルトランスフォーメーションを推進し、業務の効率化と働き方改革を加速化させ、区民サービスの向上につなげます。
- ▶ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングで、「いたばし花火大会」への寄付を募り、区民・来場者を元気づけるプログラムを実施します。



おわりに

令和3年度は、「No.1プラン2025」の初年度として、「区民の生活を守り未来へつながる重点戦略実行予算」とする予算案を編成しました。

コロナ禍による危機を変革の機会と捉え、ポストコロナ時代における「新たな日常」を見据え

た重点戦略を展開し、行政サービスの質の向上を図ることによって、持続可能な区政を実現します。

今後、板橋区基本構想における将来像「未来をはぐくむ緑と文化のかがやくまち“板橋”」の実現に向け、邁進します。

令和3年度当初予算の規模

区分	令和3年度	令和2年度	伸び率	
一般会計	2209億4000万円	2219億1000万円	△0.4%	
特別会計	国民健康保険事業	528億2000万円	549億7000万円	△3.9%
	介護保険事業	440億7000万円	438億2000万円	0.6%
	後期高齢者医療事業	124億6000万円	122億3100万円	1.9%
	東武東上線連続立体化事業	9000万円	1億2200万円	△26.2%
合計	3303億8000万円	3330億5300万円	△0.8%	

※伸び率は、小数点以下第2位を四捨五入しています。